

2019年11月16日(土)

軽井沢町議会 佐藤 敏明様

横須賀 桃子

ノーマライゼーション セミナー 報告書

1 研修日程 及び 会場

2019年11月16日(土) 13:30~15:30 東海大学交友会館

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階

2 セミナーのテーマ 及び 講師

「ホイスコーレについて」

講師：オール・デーデンローツ氏 (パーナップホイスコーレ 校長)

3 研修参加者

横須賀 桃子

4 研修報告

「ホイスコーレ」とは、1980年代に「近代デンマーク精神の父」とされるグルントビーに感化を受けた人々がグルントビー派を組織、社会の民主化を目指して対話と相互作用による全人教育の理念に基いた国民高等学校です。

ホイスコーレは、デンマークに約70校あり40~50人規模の学校が主流で、

特徴は、試験がなく単位や視覚の付与もありませんが、教師と学生が寮で共同生活を通して書物より対話を中心に社会性を自覚することで、「自由学校」とも呼ばれています。

自由なスタイルの学校の国民学校として許可されていて、17歳以上なら、障がいの有無や国籍に関わらず入学できます。

学期は2ヶ月と短いものから最長8ヶ月まで色々あり、更新することも可能で合宿型のカルチャーセンターのような学校です。

ホイスコーレの大きな特徴は、技術や知識を習得するだけでなく、あくまで授業や討論・実践・実習・生活を自己を発見することを大切にしています。

6 考察

ホイスコーレは、1950年代にデンマークの社会運動家：バンク・ミケルソンが参加していた「知的障がい者家族会」の施設改善運動から生まれた福祉理念である「ノーマライゼーション」が反映された学校ですが、テストの成績が大きく評価される日本の学校とは違い、討論・実習などを通して生きる力を養う教育スタイルだと感じました。

「ノーマライゼーション」の思想は、社会的な支援や世話を必要とする障がい者・高齢者を区別して隔離するのではなく、健常者と一緒に自然に共生できるような社会基盤を整えていこうとする実践的な福祉思想であり、「隔離施設でのサービスから地域社会での共生へ」を重んじた理念なのだと再認識しました。

日本においても、1993年にノーマライゼーションの思想に基づいて「障害者基本法」が制定されましたが、まだまだ浸透しておらずホイスコーレの教育スタイルが日本でも進むことこそ「共生社会」への転換へと繋がると強く感じました。

公立学校では、なかなか実現が難しく、受け入れられづらい「ホイスコーレ」の理念ではあります。しかしながら、目まぐるしく変化するグローバル社会において、己を発見すると共に生きる道を探すことに力点がおかれている教育方針は子供達にも必要な生きる術であると思うことから、当町でも是非参考にしてほしいと強く感じました。